

遊びながら学ぼうプログラミング！ 子どもプログラミング教室

1月11日、ふれあい交流センターくまいし館で、小学4年生から中学3年生を対象とした「子どもプログラミング教室」が開催され、熊石地域の児童生徒5名が、オリジナルのパソコンゲームづくりに挑戦しました。参加者は、アメリカのマサチューセッツ工科大学によって開発された、子ども向けのプログラミング言語「SCRATCH（スクラッチ）」を使い、講師の話を聞きながら、ネコとネズミのゲームを手始めに、宇宙旅行ゲーム、お化け退治ゲームなど、遊びながらプログラミングを学びました。



新年の思いを筆に込めて！

新年席書大会 (八雲、熊石地域)

1月9日に熊石地域児童生徒新春書初め席書大会（ふれあい交流センターくまいし館）、1月11日に八雲地域小中学生新年席書大会（公民館）が開催されました。小学生～中学生まで熊石地域では16名、八雲地域では67名が新年の思いを込めて筆運び、力強い作品に仕上げました。

大会では「竹うま」「新春第一歩」「花だより」など新春らしい言葉が並び、保護者や先生が見守る中、会心の1枚を目指しました。



防災は地域から！

八雲町消防出初式

1月6日、八雲・熊石地域消防団14分団118名の団員がシルバープラザに集まり、災害や火災など地域の安全を守る決意を新たに、消防出初式が行われました。

八雲町連合消防団足立団長からは「平成29年は10件の火災があった。各地域の防災の要は消防団であり、消防団の地域防災能力は代替性がない。今後も防災能力を強化していきながら、住民が安全で安心して暮らせるよう活動していきたい」と訓示しました。また、屋内での式典では、北海道や関係団体から表彰・感謝状の授与が行われました。



冬休みはゲレンデで滑走！ 親子ふれあいスキー教室

1月13日、春日町営スキー場にて教委主催の親子ふれあいスキー教室が開催され、12組26人の親子がスキー教室に参加しました。

教室ではレベル別に2～5人ほどに分かれ、SAJ公認指導員が受講者に基礎からスキーを指導しました。冬休み期間中の元気いっぱいの子どもたちはスキーを付けると早速滑り始め、一緒にスキーを学ぶ大人の方が置いていかれる場面もあるなど、親子で楽しみながら学ぶスキー教室となりました。

